

## 令和3年度 第1回学校運営協議会 報告書

I 日時 令和3年 4月27日 (火) 9:30~12:00

II 場所 本校会議室

III 出席者 【助言者】 2名

岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 地域学校連携担当  
同 学校教育室 特別支援教育担当

【学校運営協議会委員】 13名

A委員 地域関係者  
B委員 地域関係者  
C委員 地域関係者  
D委員 地域関係者  
E委員 地域関係者  
F委員 地域関係者  
G委員 地域関係者  
H委員 教育関係有識者 (欠席)  
I委員 教育関係有識者  
J委員 事業所関係者  
K委員 同窓会関係者  
L委員 PTA関係者  
M委員 PTA関係者  
N委員 教育関係有識者

【学校職員】 13名

学校代表教職員

### IV 内容

- 1 辞令交付
- 2 開会
- 3 校長挨拶
- 4 委員自己紹介
- 5 確認事項 (校長説明)

・学校運営協議会の設置について

・学校運営協議会に係る諸法律及び規則について

(1) 資料「地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第47条の5」より抜粋説明

(2) 資料「岩手県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」より抜粋説明

(3) 資料「岩手県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の運用について」より抜粋説明

#### ◆質疑応答

J委員

・ (意見) 学校運営協議会記録の公表方法について

・ 学校運営協議会会長の教育委員会への助言指導の機会について

県教委

・ 「意見及び指導」は学校長を通じて対応する。

校長

・ 新聞等への協議結果等の掲載及び公表は、委員各位からの同意書の許諾に沿って行う。

## V 議 事

- 1 議案1 役員の選出（進行：校長）  
各委員からの自薦他薦方式にて互選。  
会長（J委員が立候補） 副会長（J委員からA委員を推薦）  
採決の結果と承認は以下のとおり。  
会長：J委員 副会長：A委員
  
- 2 議案2 学校経営方針の承認（進行：会長）  
校長から学校経営概要説明。
  - ・昨年度「CSの基盤作り」から本年度「CSの推進」への方針の変更理由
  - ・学校経営組織機構の昨年度との違い
  - ・チームCSの編成目的
  - ・CS（コミュニティスクール）の全国的な設置の情勢について承認採択  
満場一致で承認
  
- 3 議案3 年間開催予定の承認（進行：会長）  
年4回実施予定（校長説明）  
期日は別紙資料のとおり  
承認採択  
満場一致で承認

【第2部 学校紹介】は、時間の都合により次回開催日へ延期。

## VI 熟 議

【第3部 熟議】（地域連携主任）

- 1 地域連携構想説明及び令和2年度地域連携取組報告
- 2 令和3年度地域連携実施計画

### ◆質疑応答

A委員

年度途中での計画変更について。

地域連携主任

委員の熟議により方向性を定めていく。

E委員

道の駅オープン1周年のイベントへの花巻清風支援学校の参加体制の可能性について。

学校教職員

事前の依頼により検討する。

地域連携主任

連絡窓口となる担当職員を配置して対応する。

- 3 令和4年度創立50周年事業骨子と担当者確認（50周年事務局長、地域連携主任）

### ◆質疑応答

C委員

クラブ競技を取り入れたPTA活動の実施や競技会場の学校施設利用及び教職員への普及について。

## M委員

PTAの議題として取り上げ、協議していきたい。  
学校教職員  
教職員に機会を捉えて奨励していきたい。

## VII 委員の皆様から

### A委員

これから行われる事業が楽しみ。自ら協力して楽しい行事にしていきたい。

### B委員

楽しく継続できるものにしたい。熊対策で伐採した楮（コウゾ）の利用予定が学校にあるか。  
学校教職員

高等部の作業学習で利用していたものであり、今後の材料確保の面で心配があるので、相談したい。

### C委員

50周年までに、貯水槽タンク2槽の壁画を完成させたい。

### D委員

50周年事業後も継続的に道の駅を活用していただきたい。

### E委員

地域の方や学校の協力で道の駅を楽しい場所にしていきたい。

### F委員

学校のグラウンドをカップ競技場として太田地区のカップ大会や学校の大会に活用できたらよい。

高等部生徒に太田地区の大会や県の大会に参加するという目標を持たせてはどうか。

中学部が作業学習で製作したカレンダーを道の駅で販売するほかに、印刷業者に委託増版して販売してはどうか。

こたま窯を活用した生徒陶芸製品について、太田小学校と共同制作でも取り組み、地域の作品展などに出席してはどうか。地域在住の七宝焼き講師を活用した取組をしてはどうか。

### G委員

昨年同様、道の駅への作品展示や販売の継続を期待する。

### I委員

小学校付近にある貯水槽壁画の存在は認識していた。壁画修復活動に地元小学校低学年の子ども達を連れて応援したい。

### J委員

当校の職員研修にコミュニティスクールを研究テーマとした内容を取り入れてほしい。当校が組織したチームCSが一丸となって、50周年事業成功に向けて取り組んでいくことを期待する。

### K委員

理事会で議論し、同窓会保護者会としても周年行事に協力していきたい。

### L委員

取組に対して地域の中からも仲間が増えてきた。自らが楽しくないと周囲の理解も得られない。PTAをあげて盛り上がるよう協力したい。

### M委員

CSについてわからないことや知らなかったことがたくさんあり、とても勉強になった。今後も高みを目指して頑張っていきたい。

### N委員

多くの委員の皆さんとともに考え、様々な方面から取り組みのアイデアが提案された。このアイデアを生かしながら、今後につないでいくため考えていきたい。

## VIII 県教育委員会助言

### 特別支援教育担当

運営協議会の立ち上げ、50周年へ向けての取り組み、とても勢いや盛り上がりを感じる会であった。「楽しくやりたい」の実施に際して、計画する段階や実行の段階で、安心・安全・健康な取組になっているか、その都度検証しながら推進して行ってほしい。

### 地域学校連携担当

岩手県立特別支援学校においては、学校運営協議会の初めての開催である。当校の強みは、この地域の方々の学校に対する想いと改めて感じた。校長のリーダーシップのもと、この学校運営協議会でタッグを組んでこれからも地域とともにある学校づくりを楽しみながら推し進めていただきたい。今年度より、特別支援学校のコミュニティスクールは、学校教育室主事が担当する。

## IX 諸連絡 第2回学校運営協議会 7月5日（月）午後予定

## X 閉会